

2024年 2月 22日

報道機関 各位

国際学術会議「グローバルリスクと安全保障上の問題」

相互に関連するグローバルリスクと「ポリクライシス」(複合危機)

長崎大学においてグローバルリスクに関する研究チームが、グローバルなリスクと現代のセキュリティ課題の複雑な関係を掘り下げる、オンラインの国際学術会議でセッションを設けます。

現在世界は、核の脅威や気候変動、自然災害、テロ、ウクライナやガザにおける紛争など、様々なリスクに囲まれています。しかもこれらの多くのリスク要因は、しばしば複合し、相互に関連し、グローバルリスクを形成した結果、全体的な影響が個別のリスクにより影響の合計を上回る複合効果を持つようになっています。今回の国際学術会議は、グローバルリスクと現代の安全保障上の課題との関連性のいくつかを特定し、それらの制度的および政治的文脈を議論し検討することを目的として開催されます。

ぜひ関心のある方はオンライン登録いただき、聴講ください。

記

日時：2024年3月10日、12:45~16:00 (日本時間)

形態：オンライン開催のみ

言語：英語 (通訳なし)

主催：長崎大学 Nagasaki University STAR Research on Collective Survival in the Anthropocene (NURECSA)

International Political Science Association (IPSA) の Research Committee 44 等

※プログラム等は別紙参照

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学核兵器廃絶研究センター 総務係

TEL 095 -819-2164 E-mail recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp

別紙

国際学術会議 セッション1：相互に関連するグローバルリスクと「ポリクライシス」（複合危機）

▶メインテーマと趣旨

世界経済フォーラムの2023年のグローバルリスク報告書は、新しい用語「ポリクライシス」を強調した。その目的は、「現在と将来のリスクが互いに作用して、相互に関連する一連のグローバルリスクを形成し、その結果、全体的な影響が各部分の合計を上回るような複合効果を持つ『ポリクライシス』が形成されることを説明することだった」。では、どのようなグローバルリスクが「ポリクライシス」につながる可能性があり、どのようなプロセスを経て「ポリクライシス」にいたってしまうのか。なぜ「ポリクライシス」を引き起こすリスクが過去に比べてより真剣に考慮されるようになったのか。「ポリクライシス」を回避するためには、どのような戦略や政策が必要なのか。さらに、「人新世」と呼ばれることもある時代を迎えるにあたり、人類が必要とする思考や価値観の転換とは何なのか。このシンポジウムでは、これらのさまざまな点について多角的な議論を行うことを目指している。

▶プログラム

（全体プログラムのうちセッション1において長崎大学教員による発表や議論が行われます。）

国際学術会議「グローバルリスクと安全保障上の問題」

セッション1 2024年3月10日、12:45~16:00

「相互に関連するグローバルリスクと「ポリクライシス」（複合危機）」

プレゼンテーション1

ダン・スミス（ストックホルム国際平和研究所所長）

「グローバルリスクと相互に関連する安全保障」

プレゼンテーション2

谷口真人（総合地球環境学研究所副所長）

「地球人間システムの連関に基づく持続可能な未来の共創」

- ・モデレーター 吉田文彦（核兵器廃絶研究センター センター長・教授）
- ・討論者1 ラドミール・コンペル（長崎大学多文化社会学部准教授）
- ・討論者2 樋川和子（大阪女学院大学教授）

▶国際学術会議のホームページはこちら

（本ホームページ下部からオンライン参加申し込みもできます）

<https://sites.google.com/view/nurecsa/conferences/2024-03-conf-on-global-risks>

